

令和5年(ワ)第413号 慰謝料等請求事件

原告 奥村昇次

被告 友松孝雄

証拠説明書 (5)

令和5年10月12日

名古屋地方裁判所民事第8部合議B6係 御中

原告訴訟代理人弁護士 柴垣幹生



号証	標目		作成日	作成者	立証趣旨
甲12	中日新聞朝刊 近郊版	写し	R5. 1. 17	中日新聞社	令和5年1月17日の中日新聞朝刊近郊版で「自由クラブでは四日付で奥村昇次さんが除名扱いとなり」と掲載され、原告が自由クラブからの除名処分を受けたという事実が広く春日井市民の知り得る状況に置かれた事実。

令和6年(ネ)第394号 慰謝料等請求控訴事件

控訴人 奥村昇次

被控訴人 友松孝雄

証拠説明書(6)

令和6年5月22日

名古屋高等裁判所民事第4部口係 御中

控訴人訴訟代理人弁護士 柴垣幹生



号証	標目		作成日	作成者	立証趣旨
甲13	回答書	写し	R5.2.15	議会事務局 長沖中浩	乙第16号証の会派届出事項 異動届が令和5年1月4日 ではなく実際には同年1月13 日に提出され、その前提で 遡って収受等の事務処理が行 われたこと、及びこれが不適 切な取扱であったと議会事務 局長自身が認めていること。

令和6年(ネ)第394号 慰謝料等請求控訴事件

控訴人 奥村昇次

被控訴人 友松孝雄

証拠説明書 (7)

令和6年7月3日

名古屋高等裁判所民事第4部口係 御中

控訴人訴訟代理人弁護士 柴垣幹生

号証	標目		作成日	作成者	立証趣旨
甲14	陳述書	原本	R6. 4. 30	春日井市議 会議員長繩 典夫	令和5年1月4日の自由クラブ全員会では控訴人を除名する旨の決議は行われていないこと、また議事録も残されていないこと、同年1月13日のレディアン春日井での会合は控訴人を排除するために行われたこと等。
甲15	陳述書	原本	R6. 5. 14	春日井市議 会議員堀尾 国大	令和5年1月4日の自由クラブ全員会で疑義を述べたこと、控訴人を除名する旨の決議は行われておらず曖昧なまま終了したこと、同日の全員会の様子を録音したこと等。
甲16	陳述書	原本	R6. 4. 24	前春日井市 議会議員奥 村博史	令和5年1月4日の自由クラブ全員会で控訴人を除名する件について反対意見を述べたこと、除名する旨の決議は行われていないこと、また議事録も残されていないこと等。
甲17	陳述書	原本	R6. 5. 8	春日井市議 会議員長谷 和哉	除名の契機となった議会報原稿の件で控訴人の対応には何ら問題がなく、議会報委員会委員長の対応に問題があったこと等。
甲18	陳述書	原本	R6. 5. 14	控訴人	控訴人の主張事実全般。

甲19 の1	控訴人・長縄 典夫議員間の 会話録音		R5. 12. 14	録音者：控 訴人	令和5年1月4日の自由ク ラブ全員会では控訴人の除名は 決定していないこと、同月1 3日の会合は控訴人を自由ク ラブから排除するために開催 されたこと等。
甲19 の2	反訳文	写し	R6. 6. 30	控訴人	甲第19号証の1を反訳した もの。
甲20 の1	令和5年1月 4日自由クラ ブ全員会の録 音記録		R5. 1. 4	録音者：堀 尾国大	令和5年1月4日の自由ク ラブ全員会における控訴人除名 についての被控訴人はじめ三 役による説明状況、及び堀尾 国大による疑義、奥村博史に よる反対意見の具体的内容。
甲20 の2	反訳文	写し	R6. 6. 30	控訴人	甲第20号証の1を反訳した もの。
甲21 の1	議会事務局竹 尾主任・控訴 人間の会話録 音		R5. 12. 15	録音者：控 訴人	控訴人が提出した議会報原稿 が議会報委員会及び議会事務 局で問題になった経緯。
甲21 の2	反訳文	写し	R6. 6. 30	控訴人	甲第21号証の1を反訳した もの。
甲22 の1	議会事務局沖 中事務局長・ 控訴人間の会 話録音		R5. 1. 11	録音者：控 訴人	令和5年1月11日の段階で は自由クラブから控訴人が退 会した旨の届出は提出されて おらず自由クラブに所属して いる扱いになっていたこと。
甲22 の2	反訳文	写し	R6. 6. 30	控訴人	甲第22号証の1を反訳した もの。
甲23	陳述書	原本	R6. 5. 10	春日井市議 会議員梶田 正直	令和5年1月4日の自由ク ラブ全員会では控訴人を除名す る旨の決議は行われていない こと、また議事録も残されて いないこと、同年1月13日 のレディアン春日井での会合 は控訴人を排除するために行 われたこと等。